

豊岡市立美術館「伊藤清永記念館」開館 30 周年記念式典の開催

11 月 3 日に市立美術館「伊藤清永記念館」の開館 30 周年を迎えるに当たり、記念事業として記念式典および関連企画事業を実施する。

1 主催

豊岡市、豊岡市立美術館「伊藤清永記念館」開館 30 周年記念事業実行委員会

2 記念式典

(1) 日時

2019 年 10 月 20 日（日） 午前 10 時 30 分 ～ 正午

(2) 場所

市立美術館「伊藤清永記念館」2 階 A 展示室

(3) 内容

ア 映像上映

スライド「美術館 30 年の足跡」

イ あいさつ

市長、地元衆議院議員（予定）

ウ 記念講話

(ア) 白日会最高顧問 深澤孝哉 氏 【市立美術館と伊藤清永画伯】

(イ) 白日会常任委員 中谷 晃 氏 【白日会会長中山忠彦「師弟(抄)」の朗読】

(ウ) 白日会常任委員 伊藤晴子 氏 【画家から見たこれからの美術館】

《参考》 白日会とは



絵画と彫刻の研究団体・美術公募団体

白日会

白日会は大正 13 年、中沢弘光、川島理一郎が同志を募って創立しました。それぞれの時代を支えてきた先輩諸氏の努力によって、当初の自由な精神が受け継がれ、創作発表の場となってきました。私の初出品は 31 回展でしたが、当時はまだ日展傘下の弱小団体と言われ、かろうじて命脈を保つだけの低迷期のさ中でした。

やがて、伊藤清永先生、小堀進先生等の作家活動に導かれるように、若い作家達が参加し始め、白日会独特の、日展参加、不参加組のハイブリッドの作家達が、相互に刺激し合う、今日への端緒になりました。

かつてのネオアカデミズムから脱皮し、鮮明に「写実」を標榜し、見えるものを通して、見えないものを描こうとする理念に結びました。公募、研究団体としての存在感も格段に高まり、「写実の王道を歩む白日会」との世評を、更に明日への活力の源として参りますので、この上とも、御叱声、御支援をお願い申し上げます。

白日会会長 中山忠彦

※ 白日会ホームページより

エ その他

(ア) 市立美術館「伊藤清永記念館」のロゴマーク、キャラクターのお披露目

(イ) ピアノ演奏（伊藤清永画伯寄贈ピアノによる）

3 関連事業（開館 30 周年記念展）

(1) 日時

10月20日（日）～2020年2月2日（日）

(2) 場所

市立美術館「伊藤清永記念館」

(3) 内容

ア 【第1弾】

10月20日（日）～12月1日（日）

伊藤清永 画業 70 年の軌跡

苦労を重ねた学生時代から「裸婦の名手」と称されるまで—
ひとりの画家の人生を辿る。

イ 【第2弾】

12月5日（木）～2020年2月2日（日）

日本画、水彩画、油彩画、リトグラフ、様々な技法で豊岡を彩る画家たち。
初展示！出石生まれの日本画家 小坂象堂（こさか しょうどう）

〔問合せ〕 豊岡市立美術館「伊藤清永記念館」 TEL0796-52-5456(直通)